

## “地上のパイロット”として 航空機の安全運航を支える



### 気象状況や機体の情報などを基に 飛行計画を作成して機長に提供

担当業務は国際線の運航管理者（ディスパッチャー）補助です。目的地までの情報を分析して最適な飛行計画を作り、離陸後の安全な航行をリアルタイムでサポートする運航管理者は“地上のパイロット”と呼ばれます。世界情勢などの情報収集、海外の現地スタッフや管制機関とのやりとりなどは大変ですが、自分が携わった飛行計画の下で離陸し、目的地に着陸できた時は大きな達成感で満たされます。

現在、運航管理者の国家資格取得に向けて勉強中で、晴れて合格して社内審査を通過することで、運航管理者として一本立ちできたらと思っています。

### 法学部出身だったことから 航空法なども抵抗なく学べた

就活時には、金融やインフラ関連業界を志望し、内定を頂いたJALスカイに入社。飛行機の出発・到着を管理するオペレーション業務を担当しました。コロナ禍となり空港業務が激減したため、思い切って国際物流事業を行うFedEx社に転職。その後、感染状況も収束する中で航空関連の仕事に戻りたいという思いが強くなり、日本航空オペレーション本部に中途入社しました。現在の運航管理者補助の業務は、航空法など法律と関係が深いのが特徴です。これらの条文を抵抗なく読めるのは、法学部時代から法律に慣れ親しんでいたおかげだと感じています。

日本航空株式会社

オペレーション本部運航管理・  
統制グループ主任

市川 美賀子さん

2018年法学部法律学科卒業  
東京・三輪田学園高校出身

春期留学プログラムで  
韓国研修に行った時の  
一コマ



**Q** 専修大学のいいところは？

やりたいことがあったら、図書館で調べ物ができたり、短期留学に挑戦したりなど、チャンスが見つかる大学です。

**Q** 就活時代の思い出は？

キャリアセンターでは、私の相談に親身に答えてくださったのがよかったです。企業説明会やセミナーも役立ちました。

**Q** 大学時代に熱中したことは？

様々な業種のアルバイトを行い、他大学のインカレサークルにも参加。学生時代の経験は今の自分の礎となっています。



試験にも役立つ航空機の運航に関する参考書。パイロットも使っています